

シーン - 5 みやぎのエコ・ツーリズム推進事業

事業目的

近年、身近な環境についての保護意識や自然とふれあう体験への欲求が高まっている。また、自然環境に対する影響や負担をできるだけ少なくすることにより、観光の基盤である自然環境・文化財・地域社会と共生した新しい観光のスタイルが求められている。

このような背景から、観光地の環境保全を図るため、エコの視点を取り入れた観光施策を実施するものである。

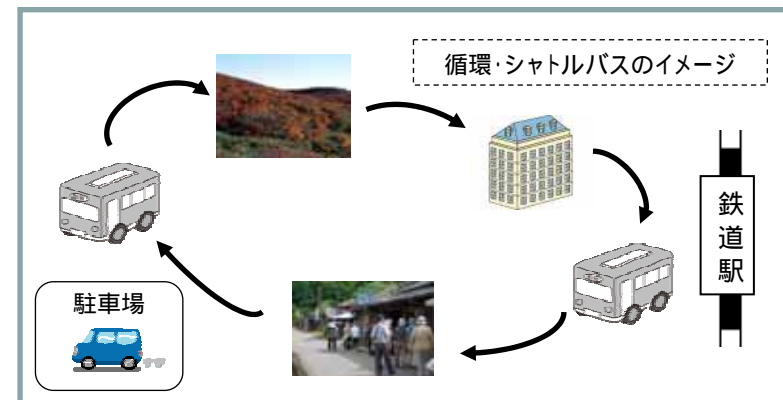
事業効果

CO2削減効果	2.0 t-CO2
その他(イベント参加者)	200人

事業内容

平成25年度事業費 24,300千円

- 1 エコツアー旅行商品造成事業
- 2 エコツーリズムに関するイベントの開催
圏域講習会(自主事業):2か所/地域講習会:市町村又は観光協会主催・事業費の1/2補助
- 3 産業観光・エコツーリズム調査宣伝事業
教育旅行に関し、学校や旅行会社に強力的に宣伝及び観光資源の発掘を行うとともに、観光資源を整理し、メニュー構築に取り組む。
- 4 公共交通機関活用事業補助
・市町村又は観光関係民間団体(バス事業者は除く)主体・事業費の1/2補助
- 5 公園施設等LED設置事業
・松島公園等公園施設の照明灯のLED化(再設置5基、改修12基)



現状

これまでの観光は、個人又は団体に観光地を訪れ、見学し、贅沢に宿泊する消費型である。

代表的な物見遊山的観光

観光産業も、観光地に大量のお客様を誘客することによって、経済重視のサービス提供を行ってきた。

近年は、知的好奇心を刺激するような体験型観光や自然と触れあう観光へのニーズが高まっている。

また、観光客が増えることは、環境的にも負荷がかかることになる。

交通手段:自動車によるCO2排出

宿:贅沢なアメニティの提供



税導入後のイメージ

環境をテーマとした観光を体験・実感することにより、環境保全に対する意識の向上が期待できるほか、観光消費による地域経済の活性化が見込まれる。

また、地域のイメージアップに貢献するとともに、地域の良さを見直すことで、その地域の資源をいつまでも守り続けようとする意識の向上につながる。

また、エコツアー旅行商品の造成により、環境への意識啓発が図られるとともに、他地域との差別化が図られる。

